

フレンズジム南山田保護者向け

児童発達支援・放課後等デイサービス評価報告

2017年8月実施

配付数 45世帯 回収数

31世帯

回収率

69%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動のスペースが十分に確保されているか	94%	6%	0%	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	87%	13%	0%	・配置数は十分である ・専門性については偏りがあると感じる
	③	事業所の設備等は安全面の配慮が適切になされているか	97%	3%	0%	・一度シートベルトが緩まったままつけられていたため注意してほしい
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（※1）が作成されているか	80%	10%	0%	
	⑤	活動プログラム（※2）が固定化しないよう工夫されているか	94%	6%	0%	・毎週楽しめるプログラムを計画してくれている ・飽きないよういつも違うことをしてくれてありがたい
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	19%	48%	19%	・求めている ・特に必要と思っていない
保護者への 説明等	⑦	支援内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%	0%	0%	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	97%	3%	0%	・主に連絡帳で細かく状況を伝えてくれ相談も受けますというスタンスでいてくれる
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	97%	3%	0%	
	⑩	父母の会の活動の支援や保護者会等の開催により保護者同士の連携が支援されているか	65%	35%	0%	・保護者懇談会、勉強会がもっとあるといい ・子どもの障害や特性についてもう一歩踏み込んで親同士が関われる場があればよい ・仕事で参加できない日が多い ・児発と放デイを分けても良いのでは
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	42%	13%	0%	・苦情がないのでわからないが、対応してくれることを説明してもらっている
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%	0%	0%	

	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子供や保護者に対して発信しているか	94%	6%	0%	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	94%	6%	0%	・車のロゴは入っていないといけないのか
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	80%	16%	0%	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	68%	29%	0%	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	100%	0%	0%	・毎回楽しみにしている ・帰宅後も満足している ・すごく楽しみにしている
	⑱	事業所の支援に満足しているか	97%	3%	0%	・長期休暇中は午前から引き受けて欲しい

※1 放課後等デイサービスを利用する個々の子供たちについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

◇ 総括

平成28年度実施の際の改善目標であった、⑩⑮⑯に関してはマニュアルの周知や保護者向けに報告を行うなどで改善傾向にある。⑥に関しては、未だ限定的な取り組みであるので、事業所として地域とどのようにつながるか、という視点での検討も必要であると考えられる。

◇ 改善点

改善点として挙げた項目について、職員間にて話し合い、今後の対応策を検討し改善を図った。

⑥	定期的な戸外活動により、地域の方々と挨拶を交わしたり、公園で事業所外の児童と出会い一緒に遊ぶ場面を設けている。しかし、限られた場面になりがちである。今後は地域とつながる事業所という視点で、利用者の要望に応じた支援を考え、実行していく事とする。例えば地域の民生委員、主任児童委員との顔つなぎ、身近な地域資源の紹介、など
⑩ ⑯	保護者懇談会については年二回開催予定。今後も参観週間への周知と共に参加を呼び掛けていく。また、開催日程や内容についても、得られた意見を参考にしていく。 避難訓練についても通信等で報告を行うなど、積極的に発信していく。